



地方議員の現状を議論

松山で知事ら勉強会

中村時広知事と松山市議らでつくる勉強会「LS(ローカル・ステーツマン・アンド・ウーマン)21」の第2回会合が12日、市内であり、約20人が出席。地方議員が置かれた現状を議論し「市民に活動を理解してもらえるよう発信力を高めるべきだ」「条例などを提案するため情報収集するシンクタンクが必要」などの意見が出た。

大亀泰彦副議長(フロンティアまつやま)と山本智

紀(みらい松山)松波雄大(同)の両氏が進行役となり、参加者はニックネームで呼び合う、相手の意見を全ては否定しないなど議論



地方議員の現状と課題について議論する勉強会参加者 12日午後、松山市

のルールを設定。3班に分かれ意見を集約した。今治、西予、宇和島市議もオプザーバー参加した。

投票率43・87%と補欠選挙を除き戦後最低を更新した4月の松山市議選を受け、市議は「きめ細かく市民の声に反応するチャンネルが足りない」「女性や若者が参画する仕組みをつくらねば」と危機感を口にした。中村知事は「高校生とLS21が討論会を開き会員制交流サイト(SNS)で拡散するなど、情報発信でさまざまな仕掛けが可能では」などと提言した。

勉強会は年4回程度開く予定。(今西晋)

知事勉強会が初会合

松山 地方政治家へ役割助言

地方政治家らによる勉強会「LS(ローカル・ステーツマン・アンド・ウーマン)・21」(代表・中村時広知事)の初会合が9日、松山市であり、講師を務めた中村知事は「政策立案型行政への脱皮には地方政治

家の役割が期待される」と出席者に訴えた。

中村知事は地方分権が進む中、国の補助金に依存するのではなく、地域に合った政策立案型の行政が求められると強調。ただ、役所の職員は他の自治体が行う政策の焼き直しに陥るケースが多いと指摘した。自身

の県政7年余の取り組みを説明し「首長や地方政治家が政策を提案するようになれば地域がもっと活性化する」と呼び掛けた。

松山維新の会など野志市政を支える松山市議や29日投票の市議選に出馬予定の新人ら約20人が出席。中村知事は「何が何でも(勝ち)上がってくる強い決意を持って頑張ってほしい」と締めくくった。

次回は7月ごろに開催する。(松本尚也)



地方政治家の勉強会で講演する中村時広知事 9日午後、松山市